

学校部活動の地域移行等に関するアンケート調査結果

【小学校教職員】

令和6年（2024年）3月

函館市教育委員会

## <調査の概要>

### 1 調査の目的

学校部活動の地域移行等に向けた取組を検討する基礎資料とするため、市立小中学校の児童生徒やその保護者、教職員、部活動地域支援者、運動・スポーツおよび文化芸術関係団体に対し、アンケート調査を実施する。

### 2 調査期間

令和5年（2023年）12月8日（金）～12月26日（火）

### 3 調査対象および調査方法

対象	調査方法	対象者数
小学校4～6年生	Googleフォームで回答	4,647
中学校1～2年生	学習用端末（Chromebook）を活用	3,059
上記小学生保護者	Googleフォームで回答	4,647
上記中学生保護者	回答用QRコード入りチラシを配付	3,059
小学校教職員	Googleフォームで回答	742
中学校教職員	回答用URLを配付、各自回答	411
部活動地域支援者	調査票による配付・回収	28
運動・スポーツ、 文化芸術関係団体	調査票による配付・回収	92

### 4 調査回答数（回答率）

対象	回答者数（回答率）
小学校4～6年生	3,592（77.3%）
中学校1～2年生	2,465（80.6%）
上記小学生保護者	1,338（28.8%）
上記中学生保護者	1,146（37.5%）
小学校教職員	531（71.6%）
中学校教職員	288（70.1%）
部活動地域支援者	22（78.6%）
運動・スポーツ、 文化芸術関係団体	53（57.6%）

※部活動地域支援者とは、中学校の各種部活動で、顧問教員を補佐し、専門的な技術指導を行う外部人材のことです。

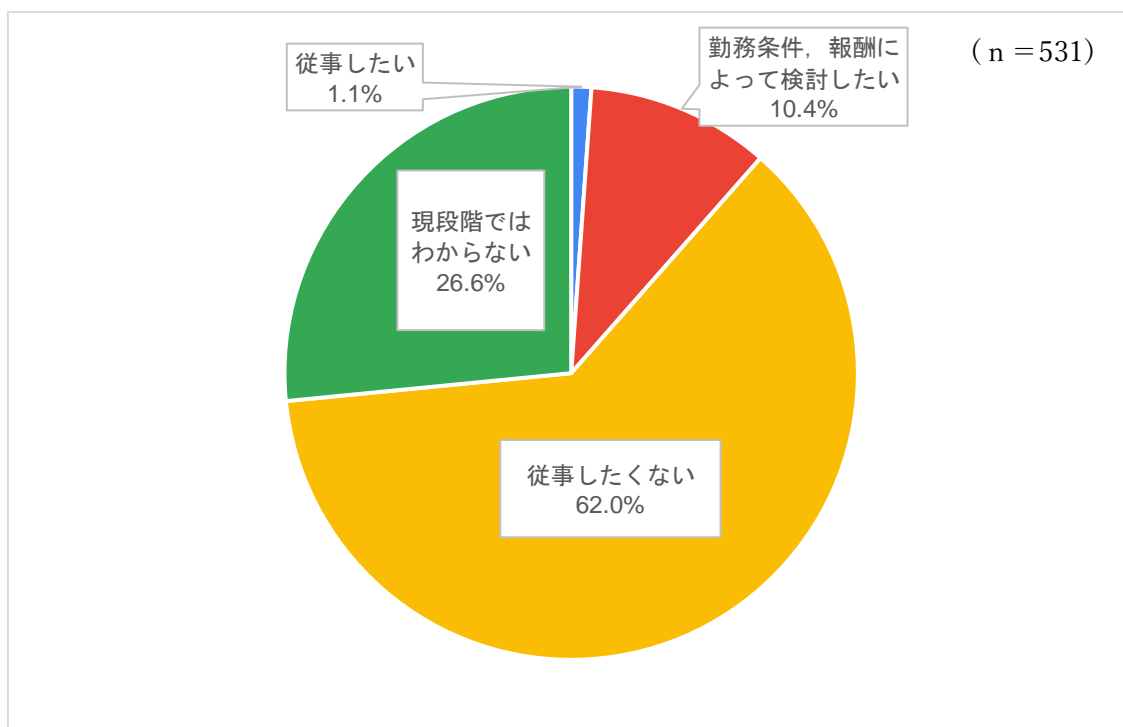
### 5 集計方法

- ・結果数値は小数第2位を四捨五入していますので、合計で100%とまらない箇所があります。
- ・複数回答の項目における割合（%）については、回答者数を分母として集計しています。
- ・グラフ横のnの値は、回答者数を表しています。

## <アンケート調査結果>

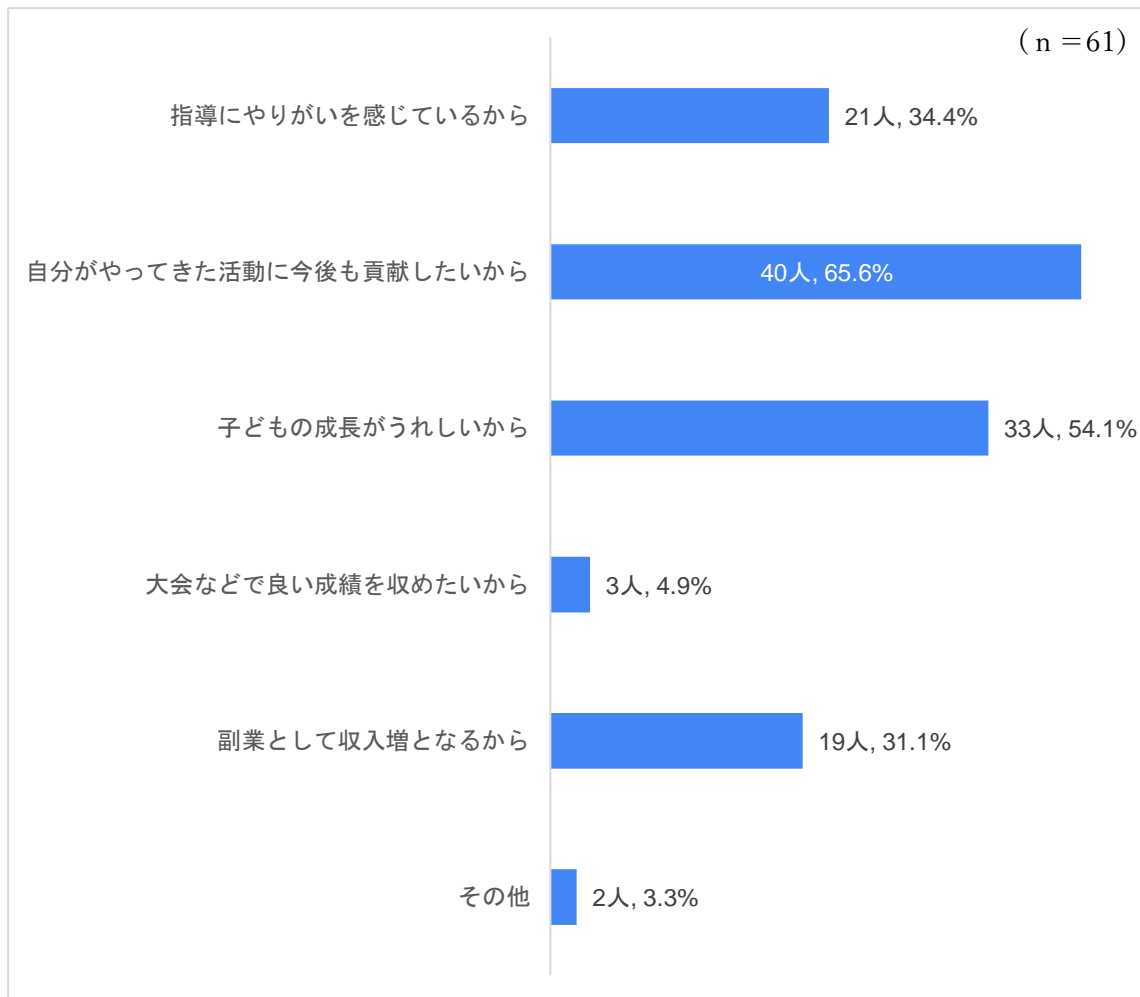
問1 休日の学校部活動を地域のスポーツクラブや文化団体等が運営する教室・クラブ活動に地域移行した場合、あなたは兼職兼業\*の許可を得た上で、子どもたちのスポーツや文化芸術活動の指導に従事したいと思いますか。

\*「兼職兼業」とは、地域の教室・クラブ活動の指導を希望し教育委員会の許可を得た教職員が地域団体と雇用契約または業務委託契約を交わす、もしくは有償ボランティアとして、地域団体から報酬を受けて指導に従事するものです。



問2 どのような理由で希望しますか（複数回答）。

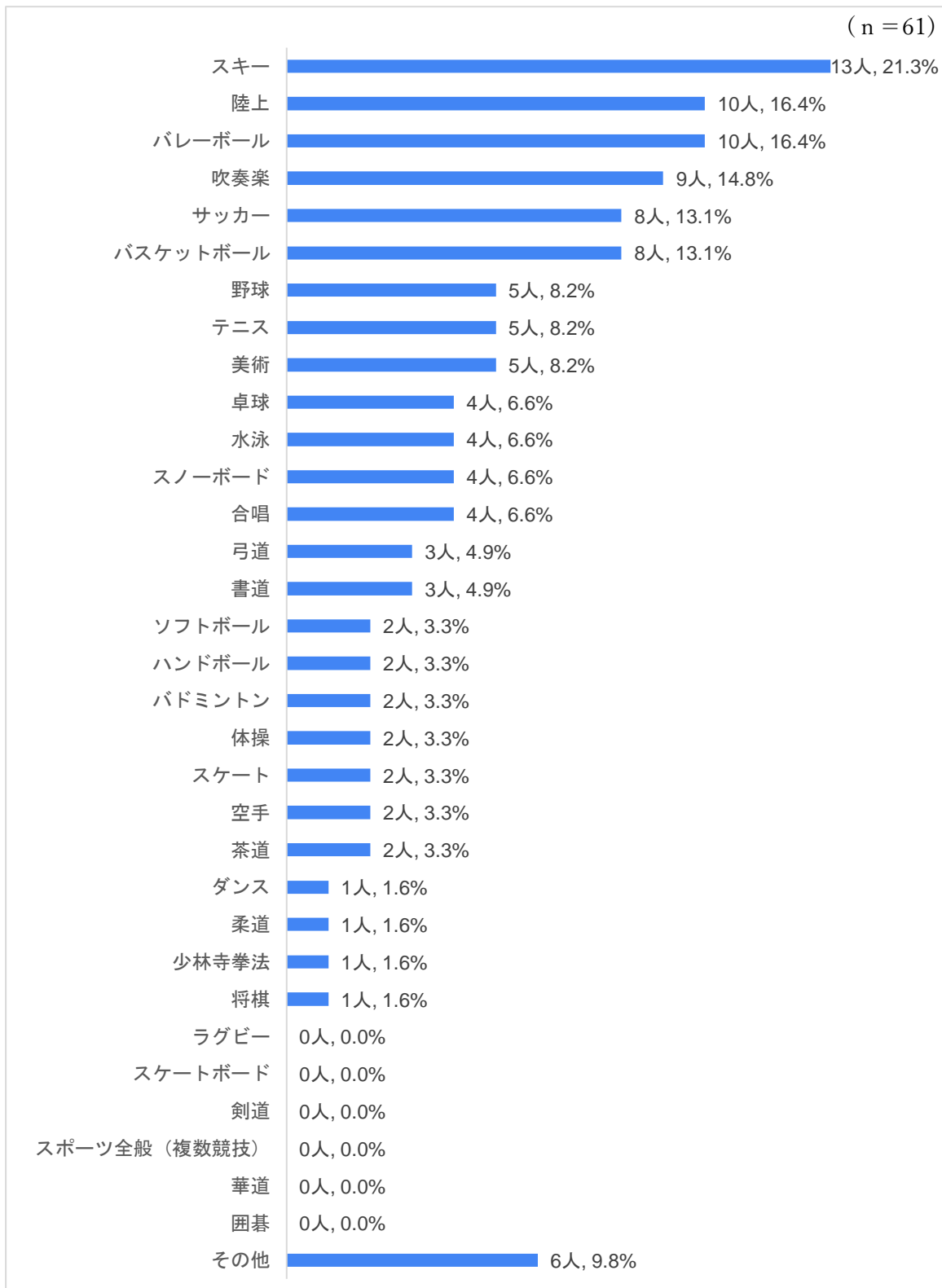
（問1で、「従事したい」、「勤務条件，報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答）



※その他（子どもの達成感・成就感をともに喜びたい，スポーツの楽しさを心の底から感じてほしい など）

問3 どのような競技・種目の指導を希望しますか（複数回答）。

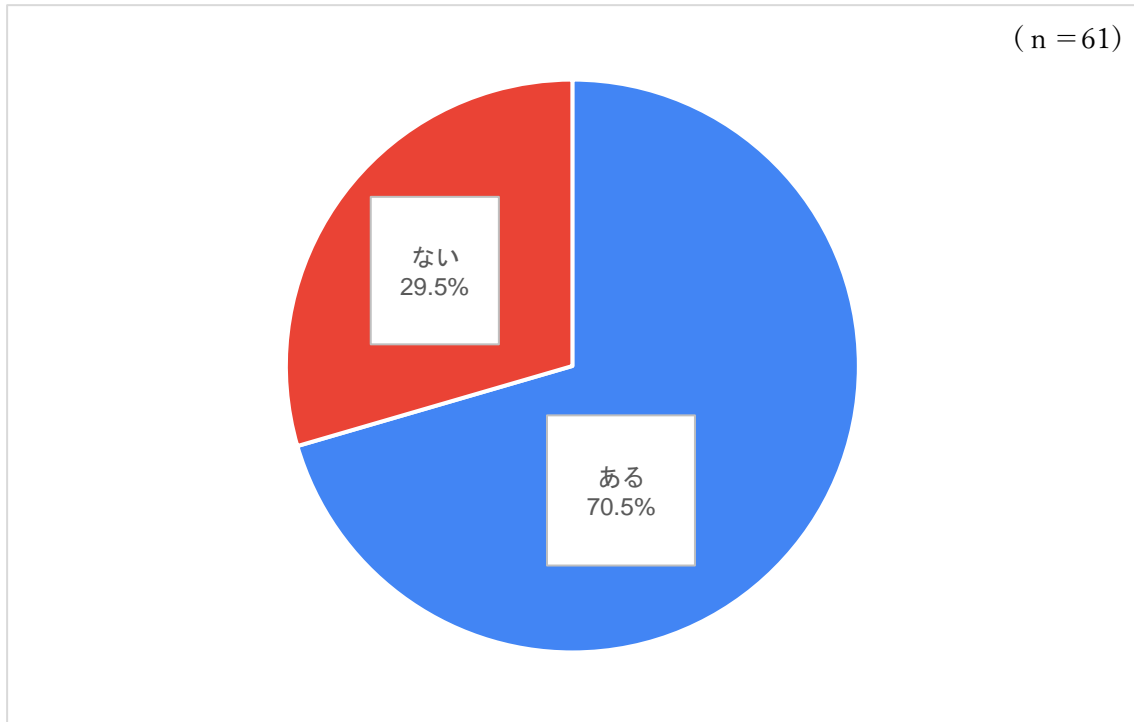
（問1で、「従事したい」、「勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答）



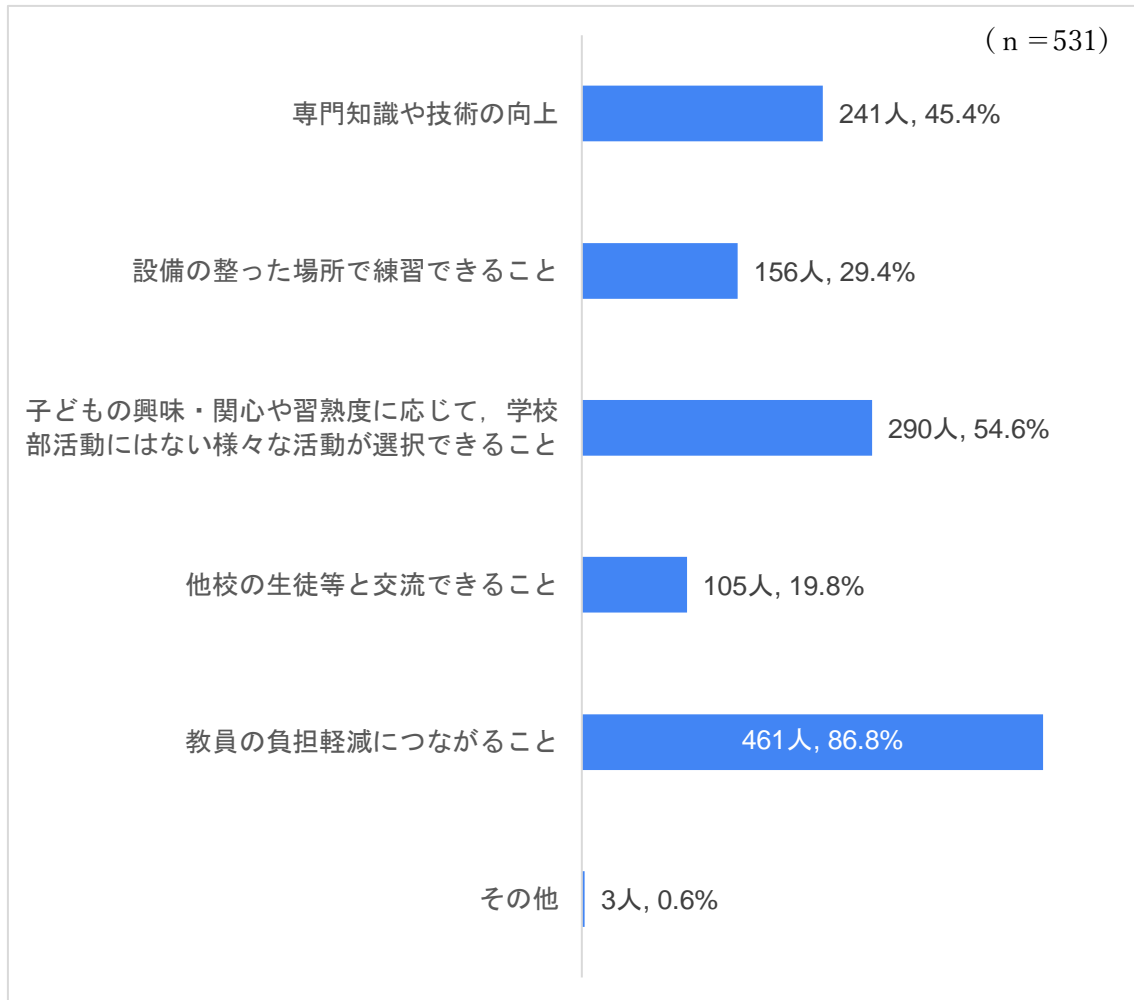
※その他（モルック、リコーダー、金管バンド、弦楽器、オーケストラ、コンピュータ）

問4 その種目は、指導経験はありますか。

(問1で、「従事したい」、「勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)

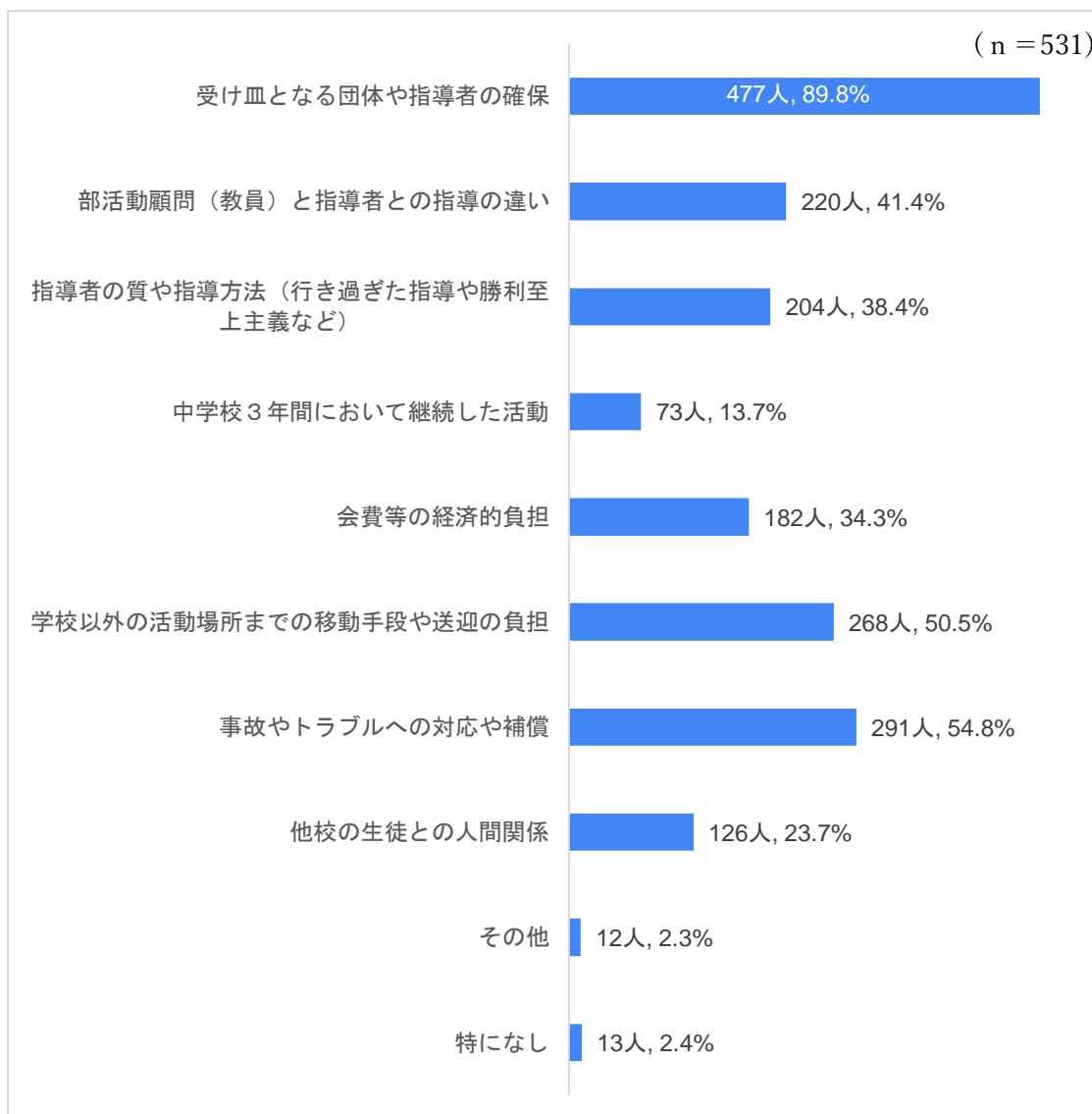


問5 休日の学校部活動の地域移行において、期待することはありますか（複数回答）。



※その他（活動費用の公費負担、地域・学校・教職員の指導における共通理解と交流・つながり、現在の部活動の現状や学校現場の課題への保護者の理解の促進）

問6 休日の学校部活動の地域移行について、課題となることは何ですか（複数回答）。



※その他（都市部と地方の人的・物的な環境の違い、今まで教職員や学校が窓口になっていたのに、全く関わらないで急に地域移行することはとても難しいことだと思う。ある程度の保証や制度が整ってから移行の措置をとってもらわないと児童生徒や保護者は不安だと思う など）